

つばさ 63号

発行年月日
2021年3月1日



鶴ヶ島市第二地区健全育成推進協議会たより

日頃より、青少年健全育成の活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
鶴ヶ島市第二地区青少年健全育成推進協議会では、自治会・民生児童委員・地域住民・学校・PTAの役員が中心となって、巡回パトロール、交流事業、講演事業等様々な活動を行っています。

コロナ禍において、「普通の生活」がままならなくなった今年度、健全育成協議会の事業も数多く取りやめとなり、人の交流が激減しました。そんな中どのような事が子どもたちに大切なのか…藤中学校の横山校長にコメントをいただきました。

鶴ヶ島市第二地区青少年健全育成推進協議会 相談役 鶴ヶ島市立藤中学校校長 横山 武仁



「コロナ禍での青少年健全育成について」

感染拡大の懸念から昨年度末より学校は休業となり、今年度6月にウィズコロナの体制をとりながら学校が再開されました。学校休業や外出の自粛は、人や社会との交流機会に影響を与えるとともにインターネットやスマホの使用時間が増えることによるトラブルの増加も懸念されます。令和3年になってもコロナウイルスの感染は終息するどころか再び非常事態宣言が出されました。私たち大人はこうしたトラブル、事件、事故等から子ども達を守る責任があります。コロナ禍での青少年健全育成という活動で大切なことは、学校と第二地区青少年健全育成協議会をはじめとする地域の皆さんとを一つにすることです。それは、子ども達の「命」を守るため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を最大限に心がけることを第一に、ウィズコロナ社会における青少年の健全育成に関する活動や見守り活動を工夫していくことです。さらに、子ども達の心を豊かに育む社会体験の機会を、学校や行政など地域の関係機関が連携・協働し、多様なプログラムを創造し、実施に努めていくことが大切と考えます。



年末巡回指導パトロール

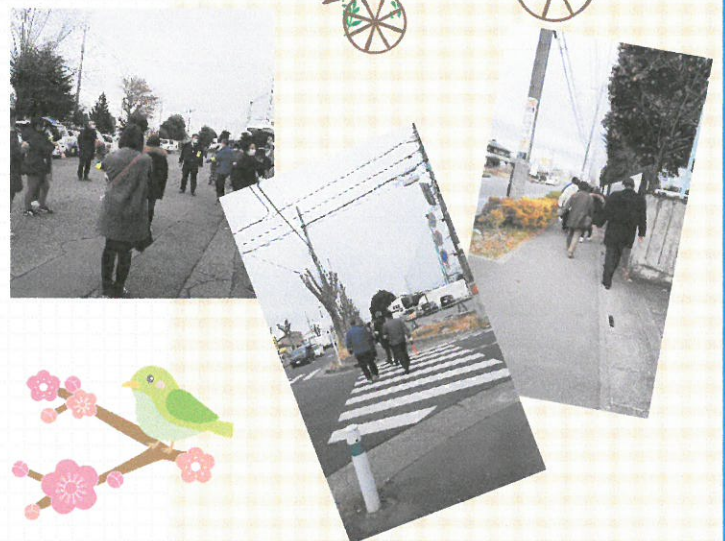
毎年恒例の巡回指導パトロールが昨年12月24日に行われました。

健全育成推進協議会のメンバーが第二地区を各コースに分かれて危険箇所などを確認し、実施後にパトロール結果を発表したのですが、

「歩いていると右側通行にも関わらず、左側の方が安全だったりするところがある」（歩道の問題）

「暗くなったら子どもたちには歩かせたくない場所がある」（照明の問題）

など、見慣れた道でも身が引き締まる思いでパトロールを行う事が出来ました。これからも地域一丸となって子どもたちの見守りを行っていききたいと思います。



編集後記

本年度は数多くの活動が中止となり、広報「つばさ」の発行も63号のみとなってしまいました。

過去の「つばさ」を読み返し、行事だけにとどまらず、地域の方々や子どもたちの生の声も載せていたり、活動を工夫していくことがまさに大切だなと実感しました。

今後とも青少年健全育成の活動にご支援ご協力をよろしくお願い致します。

広報部一同

